

☆いきいき介護リニューアルしました!!☆

いきいき介護

Vol.83

今月は介護事業部総会がありました。
「五日市地区看多機・定巡開設決定！10の基本ケアの浸透を加速しよう」
をテーマに視聴講演、基調報告、グループワークをおこないました。

はじめに田中専務理事より開会のあいさつをいただきました。
日常的に介護事業部が発信しているニュースや事例を熟読され、
関心をもってくださっていることに胸がいっぱいになりました。
さらには「介護事業部は異彩な輝きを放っている！」とうれしい
お言葉をいただき総会は始まりました。

全日本民医連 平田理 副会長の「多職種協同による介護活動の質
の向上と経営改善」の講演を視聴し、複合ニーズをもった高齢者の増加により、サービス提
供者がそのニーズに対応するためには、医療・介護を一体的に提供していくことが重要であ
り、医療職・介護職の視点の違いを互いに理解し、リスペクトしあえる関係の構築が大切だ
と学びました。

基調報告では、浴長部長より事業方針である「『元気な時から看取りまで』を『医療と介
護のチームケア=安心』で支えます」を基に、10の基本ケアの実践や五日市地区に新設予定
である看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の成功、広報
や人材確保・育成に力を入れることで、持続可能な事業経営を目指すとの報告がありました。

また田頭事務長からは、経営状況と課題、2022年度の振り返り、今後の方針についての
報告がありました。

生協くさつ24の和田管理者からは10の基本ケアに沿った介護の実践にチャレンジするこ
とで利用者の生活が大きく変化した事例の発表がありました。私たちが取り組むべき実践の
足がかりになったと思います。

グループワークでは、「医療・介護の一体的な連携を進めるために必要なことは？」「自
立支援ケアを進めるために何が出来る？」をテーマに意見交換をしました。連携を進めるた
めには、互いの役割や視点の違いを理解すること、コミュニケーションを積極的に図ること。
自立支援ケアを進めるには、利用者の出来ることを大切にすること、利用者の思いをチーム
でしっかり共有し、実現可能な目標を設定していくこと、など多くの意見が出ました。

最後に大野常務より、「介護は生活に必要不可欠なもの。10の基本ケアは介護の先進。誇
りを持って取り組んでほしい。利用者さんのお一人おひとりの身体は一つ。人間の身体には
専門職の『縦割り』も『垣根』も関係ありません。利用者
者や家族、私たちが笑顔になるため、この1年間、ワン
チームになって10の基本ケアの浸透を加速させていきま
しょう！」と思いのこもった閉会のあいさつをしてい
ただきました。

今回の総会で介護事業部の目指す方向を改めて確認し、
より一層士気を高めることができました。

